

校内読書感想文コンクール結果発表

一次審查(学年代表)

学年•番	名 前	書名	感想文の題名
1年1番	安達花怜	僕の人生には事件が起きない	ただの日常
1年4番	加藤さくら	今夜、もし僕が死ななければ	生きる意味を知る
1年7番	甲州慎吾	朔と新	朔と新を読んでみて
1年10番	笹 敦司	JTB時刻表7月号	時刻表は見るだけの
			ものではない
2年3番	伊藤優翔	あの夏の正解	失われたもの
2年6番	大澤こころ	ツバキ文具店	本から学んだこと
2年10番	菅 海咲	星の王子さま	王子さまが教えてく
			れた大切なこと
2年11番	菅 利穂	わたしの幸せな結婚	ずっと、見守りたい
2年16番	能登ももな	100 万回生きたねこ	愛のしくみ
3年2番	阿部翔太	最高の毎日を手に入れる	人生のエナジーバス
		人生の 10 か条	
3年8番	吉田愛海	小説8050	支えあって生きるこ
			との大切さ









二次審査の結果

最優秀賞:3年 吉田 愛海

優秀賞:3年 阿部 翔太

2年 菅 海咲

佳 作:2年 伊藤 優翔

2年 能登ももな

1年 甲州 慎吾



※最優秀作品は「稲穂」に掲載します。

※表彰は12月24日(金)2学期終業式にて行います。



夏休み明け "ビタミン小説"

夏休み明け、まもなく 1 か月になろうとしていますが、生活習慣は 戻りましたか? もしもあなたが日々の生活に追われて自分を失い かけていると思ったら、ぜひこのシリーズを読んで欲しい。自分を 立て直すきっかけは、ほんの小さなことにある。本書は、その方法を 教えてくれる小説なのだ。主人公は、OL だが、高校生の君たちに置 き換えて読んでみると、参考になる小説だと思います。読むと元気に なる、ビタミン小説が必要な人はぜひ、**図書館へ!**

「ランチのアッコちゃん」

読むと元気になる、ビタミン小説。

「3時のアッコちゃん」

日常のささやかな余裕を大切にしたくなる、読むビタミン剤!

「漢字のアッコちゃん」

栄養とたっぷりのアドバイスはいかが。

さくっと読めて元気をもらえる、ビタミン小説。







読書の秋にオススメの新刊!

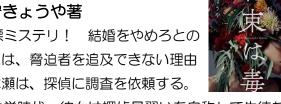


「変な家」 雨穴著

間取り図に謎の空間が存在している。そこかしこに奇妙な違和感が存在する。謎の空間、二重扉、窓のない子供部屋、間取りの謎をたどった先に見た、事実とは? 不可解な間取りの真相は? 突如消えた元住人は一体何者? 全ての謎が解き明かされる!

「花束は毒」 織守きょうや著

関、また関。100%騙される、戦慄ミステリ! 結婚をやめろとの 手紙に怯える元医学生の真壁。彼には、脅迫者を追及できない理由 があった。そんな真壁を助けたい木瀬は、探偵に調査を依頼する。



探偵・北見理花と木瀬の出会いは中学時代。彼女は探偵見習いを自称して生徒たちの依頼を請け負う少女だった。あの時、彼女がもたらした「解決」は今も僕の心に棘を残している。大人になった今度こそ、僕は違う結果を出せるだろうか? 背筋が寒くなる真相に、ラストに残る深い問いかけに、悲鳴と称賛続出の傑作。



「兇人低の殺人」 今村昌弘著

紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と剣崎比留子が突然の依頼で連れて 行かれた先は、生ける廃墟として人気を博す地方テーマパークだっ た。園内にそびえる異様な建物、兇人邸に、比留子たちが追う班目機 関の研究成果が隠されているという。深夜、依頼主たちとともに兇人 邸に潜入した二人を、異形の存在の無慈悲な殺戮が待ち受けていた。

「原因において自由な物語」 五十嵐律人著

謎を解かなければ。私は作家なのだから。

人気作家・二階堂紡季には、誰にも言えない秘密があった。



露呈すれば、すべてを失う。

しかし、その秘密と引き換えにしても、書かねばなら ない物語に出会ってしまう。



雪深き森で輝くガラスの尖塔。この建築物で事件が起こる。 謎を追うのは名探偵と医師。著者初の本格ミステリ。

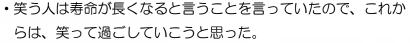


2021 第二回 映画鑑賞会 in 最上校

「事故物件 恐い間取り」実話 主演: 亀梨和歯

図書委員会企画 第二回映画鑑賞会を9月16日(木)3時50分からPC室で開催しました。1年4人・2年6人・3年2人の合計12人の参加でした著者の松原タニシはテレビ番組の企画で事故物件住みます芸人となった事でイベン

トなどに出演する機会が増え、著書、事故物件怪談 恐い間取りがヒット作となり、映画が公開された。番組の終了後も、賃貸契約の更新時期がくると別の事故物件に引っ越しすることを繰り返し、2020年11月時点では12軒目に住んでいる。



- 事故物件とは、見た目はとてもきれいなのに、いろいろなわけ あり物件があり、恐いと思った。
- 事故物件に住んだために、人間関係までもが変化していく様子がとても恐かった。





